

大鳥圭介関係文書

【経歴】1833-1911年。幕臣、政治家。岡山藩の閑谷学校で漢学、適塾で医学、江川塾で西洋砲術を学ぶ。幕府に用いられ歩兵奉行に進む。戊辰戦争では榎本武揚と共に函館五稜郭で抵抗するが降伏し、投獄。明治5(1872)年に出獄後、新政府に出仕。工部大学校長、元老院議員などを経て、工部大学校長、学習院院長、駐清国特命全権公使、枢密顧問官を務めた。明治28(1895)年国府津に別荘を設けるが、明治35(1902)年高潮で破壊され、その後山側に瀧の前別荘を建設、隠居生活を送る。この資料群は、その後別荘を手放した際残されていたものと伝えられる。詩歌稿本類には、国府津、小田原、湯河原、箱根を題にした作品が多くみられ、書簡中には地元の人々との交流も記される。

【主な内容】

大鳥圭介の日記・手記・論稿類(A. 稿本類(原稿・草稿・写本・訳稿)、B. 日清戦争関係、C. 詩歌稿本類、D. 大鳥家私文書 書類の部)、E. 書簡・葉書

A. 稿本類(原稿・草稿・写本・訳稿)

番号	表題	年月日	著者	筆記者	形態	数量	備考
1	(前欠、前文中上候外患内憂之義は…)	(文久2年6月13日)	大鳥圭介		状	1	糊剥離 封筒上書「大鳥圭介建白書 蜂須賀阿州侯へ宛」
2	和蘭メジサ艦下ノ関ニ於テ襲撃シタル事並ニ其ノ地ノ 図ヲ我等ニ賜リタルヲ以テ之ヲ次ニ述ヘ読者ノ覧ニ備フ	(文久3年5月の記事)			冊	1	4丁
3	文久3亥年10月4日 第2回薩英応接書	(文久3年10月4日)	横浜通弁方立合 石橋助十郎	沼田庸三郎	冊	1	13丁 生麦事件始末記 虫損小
4	明細書(韭山県概況)	明治4年3月	韭山県知事 江川英武			1	5丁 上部虫損、変色小
5	千八百七十二年第七月一日蝦夷箱館に於て黒田開拓 次官閣下に呈す	明治5年7月1日	北海道開拓使之顧問 官 ホーレース・ケブロン	(大鳥圭介)	冊	1	6丁 開拓使罫紙 訳稿
6	建白(銅・漆・陶 天下諸般の人工物産の規範とし国家 隆興に奉答せんことを翹望す)	明治7年1月	静岡県士族 古田新		冊	1	6丁「小田原」漆の匠工を改め有益の製品盛製せんこと、虫損
7	興国三策(百工試験所、株免状処、商法学校)	明治8年1月	大鳥圭介		冊	1	10丁 開拓使罫紙 虫損 とじ損
8	地殻図説序	明治11年8月	大鳥圭介	佐藤笙溪 訳	状	1	朱書き書き入れは中村正直か?
9	The apparatus to be used(装置使用説明書)	明治12年			冊	1	7丁 虫損 破損 ニッケルピン止め 英文
10	履霜瑣言(国是ノ正鵠・内閣ノ組織)	明治14年8月	(大鳥圭介)		冊	1	9丁 虫損
11	堰堤築法新按(訳稿)	明治14年10月1日	(大鳥圭介)				
	1 緒言・目録		(大鳥圭介)		冊	1	5丁 虫損大
	2 緒言(草稿か)		(大鳥圭介)		冊	1	2丁 虫損大 4月4日創
	3 一号(第一編～第六編途中)		(大鳥圭介)		冊	1	16丁 虫損大 4月4日創
	4 二号(第六編途中～第十五編)		(大鳥圭介)		冊	1	23丁 虫損大
	5 (第六編途中～第十編)		(大鳥圭介)		冊	1	12丁 虫損大 6月3日迄
	6 第三号(第十六編～第二十三編)		(大鳥圭介)		冊	1	26丁 虫損大 汚れ 9月9日終
	7 (第二十編途中～第二十三編)		(大鳥圭介)		冊	1	13丁 虫損大
	8 第四号(第二十四編～第二十八編)		(大鳥圭介)		冊	1	25丁 虫損大 しみ 9月9日 12月9日了
	9 (第四十三編途中～第四十五編)		(大鳥圭介)		冊	1	13丁 虫損 8月17日卒
	10 第七(第四十六編～第四十九編)		(大鳥圭介)		冊	1	24丁 虫損
	11 第八(第五十編～第五十二編大尾)		(大鳥圭介)		冊	1	18丁 虫損 明治14年10月1日夜9時了

12	明治十四年十二月二十八日開拓使ヲ廃シ新県ヲ置クベキ太政官ノ布令ヲ讀ミ感ヲ記ス	明治14年12月	(大鳥圭介)		冊	1	7丁 虫損
13	(興産委員を編成し須要の地方に派出し国財の徒費を防ぐの論)	明治15年3月26日	大鳥圭介		冊	1	5丁 虫損
14	加越地方巡歴復命書并二意見書	明治15年7月	工部技監 大鳥圭介	工部卿 佐々木高行	冊	1	22丁
15	(清国論)	明治15年10月			冊	1	11丁
16	1 中国総篇 支那ノ五人種		(大鳥圭介)		冊	1	5丁 碧雲茗園罫紙
	2 (中国総篇 支那ノ五人種 続原稿)	明治16年4月15日	(大鳥圭介)		冊	1	15丁 内2丁朱書 虫損 汚れ 碧雲茗園罫紙
	3 清国五人種 抄訳字林滬報	明治16年6月15日	大鳥圭介		冊	1	9丁 虫損 碧雲茗園罫紙
17	1 清国人種論		(大鳥圭介)		冊	1	5丁 碧雲茗園罫紙 この後に清国五人種が続くか
	2 清国人種論		(大鳥圭介)		冊	1	6丁 碧雲茗園罫紙
18	1 支那東北諸国沿革考	明治17年7月7日	大鳥圭介 述		冊	1	11丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「17年7月7日清書了」
	2 二 三韓史(「大鳥圭介述前号ノ続」)	明治17年7月15日	大鳥圭介 述		冊	1	11丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「7月15日此前ハ地学協会ニ遣ス」
	3 三 辰羅		(大鳥圭介)		冊	1	13丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「此次并ニ表ハ地学協会ニ遣ス」
	4 四(後高麗)		(大鳥圭介)		冊	1	12丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「新朝鮮ノ続キ、此前ハ地学へ」
	5 五 局外中立地・清系		(大鳥圭介)		冊	1	2丁 虫損 碧雲茗園罫紙
19	(支那東北諸国沿革考原稿)	明治17年7月	(大鳥圭介)		冊	1	41丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「17年7月草了」
20	1 東北諸国興亡年表		大鳥圭介		冊	1	5丁 碧雲茗園罫紙 「草稿の儘差上候…圭介 学士会書記御中」
	2 東北諸国興亡年表		(大鳥圭介)		冊	1	5丁 虫損 碧雲茗園罫紙
21	(朝鮮史に関する記事備忘)		(大鳥圭介)		状		3枚 碧雲茗園罫紙
22	(近年本邦の工業の情形を察し竊かに慨歎する所あり)	明治17年9月	(大鳥圭介)		冊	1	4丁 虫損小 碧雲茗園罫紙
23	1 日本礼式ニハ立礼ヲ用キ坐礼を廃スル按(草稿手記)	明治18年6月12日	大鳥圭介		冊	1	6丁 碧雲茗園罫紙
	2 日本礼式ニハ立礼ヲ用キ坐礼を廃スル按(清書)	明治18年6月	大鳥圭介		冊	1	7丁 碧雲茗園罫紙
24	造化正史 一名万物進化論(訳稿)		(大鳥圭介)				
	1 (第一編・第二編 万物化成学の主義・是認)	明治18年10月21日	(大鳥圭介)		冊	1	30丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「明治18年10月21日写終」
	2 (第二編～第四編ゲーツ・オーケン学派の進化成学)	明治18年11月29日	(大鳥圭介)		冊	1	30丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「10月29日終」
	3 (第四編・第五編 カント・ラマルク・ライエル・ダーウインの進化学)	明治19年1月28日	(大鳥圭介)		冊	1	30丁 虫損 碧雲茗園罫紙
	4 (第六編・第七編 淘汰学)	明治19年2月6日	(大鳥圭介)		冊	1	19丁 虫損 碧雲茗園罫紙
	5 (第七編・第八編 遺伝ノ推遷蕃殖)	明治19年3月25日	如楓(大鳥圭介)		冊	1	29丁 虫損 碧雲茗園罫紙 「2月6日夜始、3月25日卒」
6 (第八編)		(大鳥圭介)		冊	1	13丁 虫損 碧雲茗園罫紙	
25	(武蔵国并に東京古今沿革の事蹟)	明治18年10・11月	(大鳥圭介)		冊	1	22丁 虫損 しみ変色 碧雲茗園罫紙東京地学協会例会講演原稿

26	1	武蔵国并東京古今沿革図識目録	明治18年11月27日	碧雲茗圃炉畔 如風 (大鳥圭介)		冊	1	38丁 虫損小 碧雲茗圃罫紙
	2	洪水記・武蔵国并東京古今沿革図識		大鳥圭介		冊	1	31丁 虫損小 碧雲茗圃罫紙
27		徳川有徳公功績目録(膳写三浦氏蔵本)	明治18年	三浦氏蔵本	碧雲茗圃	冊	1	16丁 汚れ
28	1	学問弁	明治19年2月	大鳥圭介		冊	1	13丁 碧雲茗圃罫紙
	2	学問弁 学問二東西ノ別ナシ		(大鳥圭介)		冊	1	11丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
29		本省所属官吏等著訳論述校閲ノ学校教科書検定内規	明治19年3月15日	差出人 文部省編輯局 長 伊沢修二	受取人 東京学士会院 会長 西岡	冊	1	4丁 虫損小 碧雲茗圃罫紙
30		日本全国天気考	明治19年3月16日	如楓圭介(大鳥)		冊	1	23丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
31		歴史之部(印度史)	明治20年2月9日始	(大鳥圭介)		冊	1	29丁 虫損小 碧雲茗圃罫紙
32	1	印度志(巻一緒言・地勢)	明治20年4月	(大鳥圭介)		冊	1	46丁 虫損小 碧雲茗圃罫紙
	2	(印度志 人民 巻二ノ一)		(大鳥圭介)		冊	1	9丁 碧雲茗圃罫紙
	3	(印度志 歴史之部 巻三ノ一)		(大鳥圭介)		冊	1	5丁 碧雲茗圃罫紙
	4	(印度志 太古歴史 第三ノ二)		(大鳥圭介)		冊	1	67丁 碧雲茗圃罫紙
	5	(印度志 太古歴史 第三ノ二)		(大鳥圭介)		冊	1	47丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
	6	(印度志 天文・数学・医学・音楽 第三ノ三)		(大鳥圭介)		冊	1	12丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
	7	(印度志 天文・数学・医学・音楽 第三ノ三)		(大鳥圭介)		冊	1	12丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
	8	(印度志 釈教・禪宗・シツク教・回々教 第三ノ四)		(大鳥圭介)		冊	1	27丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
	9	(印度志 釈教・禪宗・シツク教・回々教 第三ノ四)		(大鳥圭介)		冊	1	17丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
	10	(印度志 歴山王ノ入寇 第三ノ五)		(大鳥圭介)		冊	1	40丁 虫損 碧雲茗圃罫紙
	11	(印度志 歴山王ノ入寇 第三ノ五)	明治21年11月9日	(大鳥圭介)		冊	1	32丁 しみ 碧雲茗圃罫紙
	12	(印度志 歴山王ノ入寇 第三ノ六)		(大鳥圭介)		冊	1	48丁 碧雲茗圃罫紙
	13	(印度志 歴山王ノ入寇 第三ノ六)	明治21年11月9日創	(大鳥圭介)		冊	1	39丁 碧雲茗圃罫紙
	14	(印度志 歴山王ノ入寇・昔時欧州人ノ印度ニ交通セシ由来 第三ノ七)		(大鳥圭介)		冊	1	39丁 碧雲茗圃罫紙
	15	(印度志 歴山王ノ入寇 第三ノ七)	明治22年1月28日了	(大鳥圭介)		冊	1	31丁 碧雲茗圃罫紙
	16	(印度志 昔時欧州人ノ印度ニ交通セシ由来 第三ノ八)		(大鳥圭介)		冊	1	37丁 碧雲茗圃罫紙
	17	(印度志 昔時欧州人ノ印度ニ交通セシ由来 第三ノ八)	明治22年2月20日了	(大鳥圭介)		冊	1	31丁 碧雲茗圃罫紙「22年1月28日創、 2月20日了」
	18	(印度志 隣境ノ侯伯ト戦ヒ 第三ノ九)		(大鳥圭介)		冊	1	32丁 碧雲茗圃罫紙
	19	(印度志 隣境ノ侯伯ト戦ヒ 第三ノ九)	明治22年1月9日創	(大鳥圭介)		冊	1	31丁 碧雲茗圃罫紙
33		印度志略 前編印度現今ノ景況		(大鳥圭介)		冊	1	25日
34	1	古代印度宗教概論		(大鳥圭介)		冊	1	10丁 碧雲茗圃罫紙
	2	古代印度宗教概論		(大鳥圭介)		冊	1	8丁 碧雲茗圃罫紙
35	1	日本人ノ美術ハ其天賦ニ出ツ	明治22年4月20日	(大鳥圭介)		冊	1	10丁 碧雲茗圃罫紙
	2	日本人ノ美術ハ其天賦ニ出ツ		(大鳥圭介)		冊	1	8丁 碧雲茗圃罫紙
36	1	蔵輝論 第一 日清ノ関係并ニ東邦論	明治24年8月13日	(大鳥圭介)		冊	2	13丁 虫損 日本国駐清公使館罫紙
	2	蔵輝論 第二 日朝ノ関係	明治24年8月	於北京公署(大鳥圭介)		冊	2	7丁 日本国駐清公使館罫紙
	3	蔵輝論 第三 台湾紀事		(大鳥圭介)		冊	1	7丁 日本国駐清公使館罫紙
	4	蔵輝論 第四 呂宋島紀事		(大鳥圭介)		冊	1	7丁 日本国駐清公使館罫紙
37		(仁川港ヲシテ兵禍ヲ避ケシムル約定為ス付左ノ条件ニ從ヒ之ニ同意ス可シ)	(明治27年)	(大鳥圭介)		冊	1	2丁
38		東方人種資性ノ異同	明治28年2月5日	(大鳥圭介)		冊	1	16丁 碧雲茗圃罫紙「2月5日書了」
39	1	東方人種資性ノ異同		(大鳥圭介)		冊	1	11丁 碧雲茗圃罫紙

	2	東方人種資性ノ異同	明治28年3月10日	(大鳥圭介)		冊	1	40丁 速記社罫紙
40	1	(東方人種資性補遺)	明治28年11月29日	於国府津 大鳥圭介		冊	1	11丁 松竹齋罫紙
	2	東方人種資性ノ異同		(大鳥圭介)		冊	1	7丁 松竹齋罫紙 最終7丁目破損
41		(工業化学雑誌ノ養方ニ口ス)	明治30年3月	如風圭介(大鳥)		冊	1	2丁 松竹齋罫紙
42		艱難ハ富貴ノ母	明治31年12月16日	(大鳥圭介)		冊	1	4丁 松竹齋罫紙
43		本会の主義(善行会)	明治32年1月25日	(大鳥)圭介		冊	1	2丁 松竹齋罫紙
44	1	清国ニ対スル感情ノ変遷	明治32年2月2日起	(大鳥)圭介		冊	1	3丁 松竹齋罫紙 「32年2月2日起圭介手記」
	2	清国ニ対スル感情ノ変遷	明治32年3月5日	(大鳥)圭介 手記		冊	1	8丁 碧雲茗圃罫紙・松竹齋罫紙
45		蔵輝論(第一日清ノ関係并ニ東邦論 第二日朝ノ関係 第三台湾記事 第四 呂宋島紀事)	明治32年5月3日	(大鳥)圭介 手識		冊	1	62丁 枢密院罫紙 緒言 清書2枚を含む
46		米(明治三十三年七月八日講演原稿)	明治33年7月	男爵 大鳥圭介		冊	1	12丁 碧雲茗圃罫紙
47		廉恥	明治34年7月	大鳥圭介		冊	1	5丁 虫損 しみ
48		丹心録(初めは揚輝目録)	明治35年5月	(大鳥)圭介)		冊	1	43丁 虫損 しみ 21~43丁は記入なし 「此冊ヲ継続ス」 碧雲茗圃罫紙
49	1	国民ノ外交	明治35年6月	(大鳥)圭介)		冊	1	5丁
	2	(此一篇は明治二十四年八月圭介北京駐劄ノ頃私ニ東洋ノ時勢ヲ論シテ…)		(大鳥)圭介)		状	1	
	3	(両国間ノ交情ヲ盟ムルハ彼国在勤ノ公使館員ノ職務ナレトモ…)		(大鳥)圭介)		状	1	
50		満州及西白利地理ノ概略	明治37年4月23日	(大鳥)圭介)		冊	1	11丁 第五回内国勸業博覧会事務局罫紙 明治37年4月23日執筆
51		ビーグル号ノ記	明治42年6月	(大鳥)圭介)		状	1	
52		(英・仏・荷蘭三国事情報告 写し)	4月12日	福地源一郎	森山多吉郎・西吉十郎・立石得十郎	冊	1	6丁 虫損
53		氷の説	6月11日	如楓(大鳥圭介)		冊	1	5丁 桜水社罫紙
54		(開路・測量・修路・修橋梁進捗に付報告)	6月13日	榎本道章		冊	1	5丁 開拓使罫紙
55		(上野戦争浪士義士語りの稿)		安房(勝安房の侯)		冊	1	3丁
56		日本陶器論		(大鳥)圭介)		冊	1	59丁 虫損
57		山油論		(大鳥)圭介)		冊	1	68丁 虫損 開拓使罫紙 図版あり
58		(山油論資料ノート)		(大鳥)圭介)		冊	1	34丁
59		大野村文月村山手町三分之縮図				状	1	虫損 彩色地図
60	1	戸功地村山手町三分之縮図				状	1	虫損 彩色地図
	2	戸功地村山陣屋迹一分二間縮図				状	1	虫損 彩色地図
61	1	第二号 新潟県管下越後国頸城・苅羽・三島・蒲原四郡之石油坑見分路程略図				状	1	虫損 彩色地図 包紙あり 山北町松永所蔵とある
	2	第三号 鶴岡県管下羽後国飲海郡鳥海山麓升田・草津村石油坑并羽前国田川郡清川・立谷川筋中村・大中島村砂金見分路程略図				状	1	虫損 彩色地図 包紙あり 山北町松永所蔵とある
62		長野県管下 壱村米利堅製器械ヲ以テ油井ヲ鑿ルノ図				状	1	虫損 彩色図版
63	1	(明治八年九月信越羽三州石油其他物産巡見手記)	明治8年12月	工学頭兼製作頭勸業寮四等出仕 大鳥圭介	参議兼内務卿 大久保利通	冊	1	9丁 虫損 内務省罫紙
	2	附録(地質調査・試掘・石油精製法)		(大鳥)圭介)		冊	1	6丁 虫損 内務省罫紙
64		石炭論		(大鳥)圭介)		冊	1	139丁 虫損大 開拓使罫紙
65		北海道開拓論・北海道開拓論続編		(大鳥)圭介)		冊	1	14丁

66	(政府紙幣の増発を収納する法)		(大鳥圭介)		冊	1	4丁 碧雲茗園罫紙
67	腐蝕牛飲ノ毒邪ヲ防グ(東京府会の中学校・師範学校 廃絶に一撃を試みる)		氷川小天狗		冊	1	4丁 虫損大 新聞投稿原稿か
68	三府市制特別ノ編成ヲ請フノ意見書		(大鳥圭介)		冊	1	2丁 学習院罫紙
69	徳育鄙見		(大鳥圭介)		状	1	しみ 日本国駐清公使館罫紙
70	家育(幼稚教育論 錯簡)		(大鳥圭介)		状		3枚
71	(小児教育論)		(大鳥圭介)		冊	1	2丁 虫損 華族女学校罫紙
72	女子教育の主義		(大鳥圭介)		冊	1	5丁 虫損 綴ってはないが丁数がある為 一冊とみなす
73	支那学ノ本旨		(大鳥圭介)		冊	1	24丁 虫損 碧雲茗園罫紙 24丁のうち 17丁未記入
74	(五経四書の利弊得失論)		(大鳥圭介)		冊	1	14丁 碧雲茗園罫紙
75	大阪ノ地勢沿革(目次案)		(大鳥圭介)		状	1	
76	(地学に関する設問)		(大鳥圭介)		冊	1	10丁 縄武館罫紙
77	軽便ドコピール鉄路概算		(大鳥圭介)		冊	1	3丁 碧雲茗園罫紙
78	日本人ノ生質		(大鳥圭介)		状	1	虫損
79	四海一家		(大鳥圭介)		状	1	
80	遐邇貴珍 卷之三		(大鳥圭介写本)		冊	1	31丁 しみ 虫損 写本
81	扶余 鮮卑 烏桓(備忘)		近藤守重 輯	(大鳥圭介写本)	冊	1	21丁 「迎要分界図考 近藤守重輯」写 本
82	1 (百工通史 卷之一)		紀伊 鈴木真年	(大鳥圭介写本)	冊	1	21丁 しみ 紀伊 鈴木真年編集
	2 (百工通史 卷之一)		紀伊 鈴木真年	(大鳥圭介写本)	冊	1	32丁 虫損
	3 (百工通史 卷之一)		紀伊 鈴木真年	(大鳥圭介写本)	冊	1	31丁 虫損
83	亜細亜州大勢論			(大鳥圭介訳)	冊	1	2丁 虫損 碧雲茗園罫紙
84	1 独嚙戦紀			(大鳥圭介訳)	冊	1	9丁 嘩はデンマーク、シュレスヴィ=ホル ルスタイン戦争
	2 独嚙戦紀		普魯士太史 流士唐 著・和蘭国 弟馬訳	(大鳥圭介訳)	冊	1	8丁 虫損
85	維新前後書類(包紙上書)						
	1 (薬品製造法)			(大鳥圭介訳)	冊	1	20丁 虫損
	2 (鉍物精錬加工法)			(大鳥圭介訳)	冊	1	25丁
	3 (瘦梅翁地理学おしへ)				冊	1	7丁 虫損・しみ
	4 (童蒙新話目録・知恵乃環目録・兵法目次)				状		3枚虫損
	5 (漢詩草稿)				状		2枚
86	家庭の教学・雲雀の話(The second Reader Lesson xi v. The gardenより)			(大鳥圭介訳)	冊	1	4丁 学習院罫紙
87	訳者叙言(米國マサチューセツ州レファエル社著作 水車ノ堰堤ノ築法書)				状	1	虫損・しみ
88	第二編 当番方ノ心得			(大鳥圭介訳)	冊	1	62丁
89	造家法			(大鳥圭介訳)	冊	1	67丁 虫損 碧雲茗園罫紙
90	1 砲科新論目録				冊	1	「半紙摺り650枚、厚皮摺り100枚)
	2 砲科新論第五編大砲論			(大鳥圭介訳)	冊	2	20丁づつ2分冊 虫損
91	(騎馬術の訳稿、前欠)			(大鳥圭介訳)	冊	1	12丁 虫損 縄武館罫紙
92	殖産・営生 百工化学新本			(大鳥圭介訳)	冊	1	33丁 虫損 開拓使・桜水舎罫紙
93	戦争 英国陸軍都督ウヲルスレー			(大鳥圭介訳)	冊	1	7丁 碧雲茗園罫紙 25丁白紙
94	舎密抜抄 卷一			(大鳥圭介訳)	冊	1	40丁

95	(洋書解読のための備忘ノート)		(大鳥圭介)		冊	1	61丁 虫損 しみ
96	気貫斗牛(徳川方軍艦乗船員のうち駿河沖で砲撃にあい戦死の者の為清見寺に建碑文)				状	1	
97	出品概目				状	1	内国博覧会か
98	和親通商航海ノ補約				冊	1	2丁 虫損 碧雲茗園罽紙
99	雑(原稿断簡・封筒類)						一括

B. 日清戦争関係

番号	表題	年月日	差出人	受取人	形態	数量	備考
1	書簡(今般海軍大尉松本有信視察之為め清国派遣被仰付候に付)	明治23年10月27日	海軍大臣 子爵 樺山資紀	在清国 特命全権公使 大鳥圭介	状	1	幸便 朱書「機密」
2	辞令(朝鮮国駐劄公使兼勤被仰付)	明治26年7月15日	内閣	特命全権公使 大鳥圭介	状	1	
3	(今回の事件に付今日の場合に立到義深く感謝候、清国とは其時機の来るを待つ外無候…)	(明治26年)8月6日	福堂(陸奥宗光)	如楓(大鳥圭介)	冊	1	7丁 虫損
4	書簡(中川三七氏当地大倉組支店支配人として渡韓に付御心忝被賜度紹介候)	(明治26年か)9月3日	陸奥外務大臣	京城 大鳥圭介 特命全権公使	状	1	外務省用封筒「中川三七氏持参」
5	書簡(外務大臣に代り朴孝老之義左に申進候)	(明治26年)9月17日	林 董	大鳥圭介	状	1	2枚 外務省罽紙 No.3と関連
6	書簡(歳暮表節に付)	(明治26年)11月24日	李 鍾健	大日本公館 公使大人(大鳥圭介)	状	1	添え状か
7	書簡(祝歳之觴些略失敬)	明治26年11月25日	金 嘉鎮	大鳥星使大人	状	1	虫損小
8	書簡(別紙は浄書之上本年度報告底稿取纏之手都合上御覽済次第御下付相願度)	(明治26年)12月30日	中島 雄	大鳥全権公使	状	1	封筒裏面メモ書あり
9	名刺(恭賀新禧)	(明治27年)1月	韓 圭口	日本公使 大鳥大人(圭介)	状	1	
10	(別紙内報御一覽被下、事情は実に混乱致し、杉村書記官に御聞の上総理大臣其他の意見決定内訓被下度)	明治27年2月15日	(京城)大鳥圭介	陸奥宗光	状	1	4枚 在朝鮮国日本公使館罽紙
11	京仁間鉄道建設概算 甲、朝鮮政府外債概算 乙、仁川を経て京城に来る当国産貨物調査	明治27年3月27日	□ 一太郎		冊	1	10丁 在朝鮮国日本公使館罽紙 乙はコンニャク版
12	書簡(着京相成候趣大慶、東学党の動向に付臨時費下賜の義協議被下度)	(明治27年)5月23日	杉村 濬		状	1	封筒欠
13	1 (東学党之件に付在京城杉村臨時代理公使より別紙通報有之、写御送付候)	明治27年6月1日	外務大臣 陸奥宗光	特命全権公使 大鳥圭介	状	1	コンニャク版「外務大臣」公印
	2 (別紙通報、清国との筆談)				状	1	3枚
14	機密送第19号 今般閣下朝鮮京城工御帰任相成候上ハ左記ノ件御心得置御遵行相成度候	明治27年6月4日	外務大臣 陸奥宗光	特命全権公使 大鳥圭介	冊	1	3丁 外務省罽紙「外務大臣」公印
15	(朝鮮国へ兵員派遣に付て閣議へ提出文案)	明治27年6月5日	外務大臣 陸奥宗光	内閣総理大臣 伊藤博文	状	1	外務省罽紙
16	機密第81号 朝鮮政府が清兵借用二到リタル顛末探聞	明治27年6月6日	臨時代理公使 杉村 濬	外務大臣 陸奥宗光	冊	1	5丁 コンニャク版 在朝鮮国日本公使館罽紙
17	金州落城後官賊両軍ノ運動二関スル彙報	明治27年6月7日	臨時代理公使 杉村 濬		冊	1	4丁 コンニャク版
18	六月九日京城森ヨリ盛道台ニ来リシ電報	(明治27年)6月9日			冊	1	2丁

19	書簡(我警備兵入京之義に付甲号之通り外務督弁より公文送付に付乙号之通り回答致置候)	(明治27年)	杉村 濬	大鳥特命全権公使	状	1 封筒欠
20	書簡(我兵入韓に付諸判・往復公文等は別紙之通りに有之候、当地は平穩兵員迎の準備も整居候に付御入京相成度)	(明治27年)6月9日	杉村 濬	大鳥公使	状	1 封筒欠
21	1 公使館護衛兵派遣ノ儀通知顛末(趙秉稷よりの回答文)(写機密第83号55)	明治27年6月9日	臨時代理公使 杉村 濬	外務大臣 陸奥宗光	綴	1 6丁 在朝鮮国日本公使館罫紙
	2 (大朝鮮督弁交渉通商事務趙よりの照会回答文)別紙甲号・別紙乙号	明治27年6月9日	臨時代理公使 杉村 濬	督弁交渉通商事務趙秉稷	状	1 3丁 在朝鮮国日本公使館罫紙
	3 大日本代理公使高平為照会事茲奉本国				状	1 3丁 在朝鮮国日本公使館罫紙
22	最モ秘密ヲ要スル書類 総数廿參葉(汪公使と李鴻章間通信文書)	(明治27年)6月13日～7月12日			冊	1 25丁 外務省罫紙
23	書簡(今回本邦出兵之件は予想外之出来事に候、今人上陸の3000人で狹隘の租界内円滑を欠く今回の事件は我内閣の一大失策と云わん)	(明治27年)6月16日	能勢?辰五郎	大鳥大人(圭介)	状	1 封筒欠
24	1 発第1号(金州民乱一件に関し在天津神尾光臣より別紙内報を得に付御参考に相成度)	明治27年6月17日	駐京城 特命全権公使 大鳥圭介	仁川港於テ 大島旅団長	状	1 日本公使館罫紙
	2 六月九日京城森ヨリ盛道台ニ来リシ電報	(明治27年)6月9日			冊	1 2丁 コンニャク版か 封筒入 B-18に同じ
25	朝鮮ノ返答ヲ三項ニ分チ起案 此度政府ハ軍兵ヲ朝鮮ニ入タルコト	(明治27年)6月23日	(大鳥圭介)		冊	1 4丁 合冊 在朝鮮国京城日本公使館罫紙
26	廿七年六月廿八日加藤外務書記官ヨリ大鳥特命全権公使ニ伝ヘタル外務大臣口達内訓ノヶ条并ニ其大要	(明治27年)6月	朝鮮出張 藤外務書記官	加 大鳥全権公使	状	1 3丁 在朝鮮国日本公使館罫紙 上書「秘密」
27	清国出援ニ付韓廷不服袁ノ運動并袁氏ノ裏話(外関連文書綴)	明治27年6月			綴	1 11丁 在朝鮮日本公使館罫紙 上書「写」
28	1 Copy of Telegrams from 外務大臣 w 杉村、From sugiura w 外務大臣		外務大臣・杉村	杉村・外務大臣	冊	1 4丁 ペンによるインク書 封筒上書「大鳥特命全権公使殿 臨時代理公使杉村濬」
	2 甲案(外務大臣陸奥宗光名)	明治27年6月	外務省	大鳥圭介特命全権公使	冊	1 7丁
29	(韓兵・支那兵の東大門付近の動向報告)	(明治27年)6月	一戸 兵衛	大鳥公使(圭介)	状	1
30	書簡(住ノ江丸宇品より陸軍糧食品・弾薬を搭載馬関・釜山を経て本日入港に付報告)	明治27年7月12日	平山八重山船長	大鳥全権公使	状	1 消印 東京郵便局明治27年6月12日幸便「至急親展」虫損 海軍公用文筒
31	(6月5日より7月13日までの陸戦隊京城入りの様子報知の件)	(明治27年)7月			状	1 封筒欠
32	葉書(山梨日日新聞東来乃電音によせる和歌)	明治27年7月24日	甲斐国甲府市 末 広家	朝鮮京城ニテ 大日本帝国全権公使 大鳥圭介	状	1 消印 朝鮮仁川8月1日 万国郵便聯合端書
33	葉書(三呈大鳥公使閣下)	明治27年7月26日	下野梁田郡久野村 野島幾太郎	朝鮮国京城 大日本帝国公使 大鳥圭介	状	1 消印 朝鮮国仁川明治27年8月6日
34	(朝鮮之病実在外而遂入膏胸故欲医 大鳥特命全権公使への建白書)	明治27年7月27日	西村時彦		冊	1 3丁 封筒欠
35	葉書(神州万歳大鳥君万歳)	明治27年7月28日	新潟県北蒲原郡笹岡 度会照隆	朝鮮国京城 大日本公使館 大鳥圭介	状	1 消印 朝鮮仁川明治27年8月6日 万国郵便聯合端書
36	(大島旅団ノ勲勞ヲ稱賛シ併セテ其健康ヲ祝ス)	明治27年7月29日			状	1 草稿か 鉛筆書き

37	(凱旋ノ日ハ花々シク朝廷ヨリ歓迎セラル様御配慮祈候)	明治27年7月30日	牙山幕當地ニ於テ 陸軍中佐福島安正・少佐上原勇作	特命全權公使 大鳥圭介	大	状	1	在朝鮮国日本公使館罫紙
38	清国開戦に決す(7月10日付上海通信写)	(明治27年7月)				冊	1	2丁
39	書簡(警視武久克造及警部3名巡查100名渡韓に付可然御指揮相成度)	明治27年8月1日	警視總監 園田安賢	特命全權公使 大鳥圭介	大	状	1	封筒入 虫損
40	書簡(李起泓なる者日本のために尽力致し度内談致しに付、安嗣寿に周旋方を請願致し由に付御聞糺被成下度)	(明治27年)8月17日	專一	大鳥(圭介)		状	1	封筒欠
41	1 書簡(秀郷公旧館地の矢ノ根地蔵尊石像日本魂岩をもとをす、勇氣百倍する御守に付)	明治27年8月28日	近江国滋賀県大津葭原町華階寺 大谷正賢	朝鮮国京城公使館 特命全權公使 大鳥圭介		状	1	
	2 滋賀県近江国視が郡大津町宇葭原廿三番地浄土宗中本寺高山幻中院華階寺(由緒)	明治27年8月28日	近江国滋賀県大津葭原町華階寺 大谷正賢	朝鮮国京城公使館 特命全權公使 大鳥圭介		冊	1	2丁
	3 鎮守府將軍藤原秀郷旧邸紀念碑建設之趣意書					状	1	印刷物
	4 奠都紀念祭献詠大日本帝国明治詩歌文大集広告	明治27年1月	大津葭原町 大谷正賢			状	3	印刷物
	5 田原藤太矢之根地蔵尊(御札)	明治27年8月	鎮守府將軍秀郷旧館主 大谷正賢			状	30	
42	書簡(「今夕来ル船アリ九日未明此地ヲ発ス」龍山兵站部より来電有、1時間位は出発を延引出来に付)	(明治27年)9月8日	松井慶一郎	大鳥公使		状	1	封筒欠
43	葉書(御自重国光ヲ宇宙ニ輝サレン事ヲ切望ス)	明治27年9月9日	臣民	大朝鮮国於京城 大日本帝国公使 大鳥公		状	1	消印 朝鮮仁川明治27年9月18日
44	(朝鮮政府へ戻スヘキ武器ヲ取調ヘタルニ、下書と取調書上清書)	(明治27年)9月19日		杉村(濬)		綴	1	日本領事館罫紙・兵站部罫紙
45	書簡(知人新聞配信人兩人へ柳行李差送り度、大本營より京城公使館迄被送との事故御受取置被下度)	明治27年10月2日	広島市大手町 東巳代治	朝鮮国京城大日本公使館 大鳥特命全權公使	伊	状	1	
46	処方箋	明治27年10月5日	陸軍医 西原 勲	大鳥公使		状	1	
47	書簡(御地出張中御厚情に預かり本月1日帰京仕候間御礼迄)	明治27年10月6日	東京芝公園地 末松謙澄	在朝鮮国日本公使館 大鳥圭介		状	1	消印 京城明治27年10月
48	Copy of Telegrams (Notify appointment of 伯爵井上外2通、英文)	(明治27年)10月20日	京城 日置 益	仁川 大鳥公使		状	1	幸便 虫損小 インク
49	書簡(沽恙は如何に候哉、電報にて井上公使本日午後馬関御出発に付杉村出迎に出発と承候)	(明治27年)10月22日	京城 鄭 永邦	大鳥欽憲大人(圭介)		状	1	幸便
50	書簡(戦争は充分の名義なくむはあらず、京城は静謐仁川の兵を投ずれば清は不快、交渉を北京の代理公使より双方の承諾を売るは如何)	(明治27年)				状	1	2枚 えんぴつ書 一部欠落あり
51	仁川港へ兵員ヲ上陸セシメ並其進退ニ付協議要件					冊	1	2丁 コンニャク版か、ぼやけて解読困難 在朝鮮国日本公使館罫紙
52	朝鮮国内地探検ノ理由并ニ計画					冊	1	7丁 上書「秘密」伊知地印あり 着色地図あり 参謀本部罫紙
53	朝鮮国測地事業ニ関スル意見及諸規程案					冊	1	11丁 上書「秘密」伊知地印あり 参謀本部罫紙

54	(朝鮮半島大河周辺地理詳細・略図共)				冊	1	5丁 日本領事館罫紙 欄外書込みあり
55	(朝鮮国略図)				状	1	しみ
56	(条約改正案手続き順序に付)				状	1	
57	暫定条約稿(此暫定条約内有永遠遵守之条款則日後当存為正条約)				冊	1	2丁 コンニャク版か 在朝鮮国日本公使館罫紙

C. 詩歌稿本類

番号	表題	年月日	差出人	受取人	形態	数量	備考
1	安楽居詩集	(明治初年)	榎本泉州(武揚)・大鳥圭・永井玄蕃		冊	1	7丁 表紙汚れ 虫損 獄中に書したもの
2	愧殺遠謀遂為夢兵丁勞役不酬勲 熱海 雑咏	(明治9年)	(大鳥圭介)		合冊	1	26丁 汚れ 開拓使罫紙 熱海雑咏は明治9年7月
3	故陸軍中尉瀧川具綏君墓(碑銘下書)	(明治10年)	(大鳥圭介)		冊	1	瀧川は明治10年5月31日没 桜水舎原稿用紙
4	1 道子碑銘(原稿 大鳥道子墓碑銘)	明治11年10月	(大鳥)圭介		状	1	虫損 朱書入り 桜水舎原稿用紙 大鳥道子は明治11年2月4日没
	2 (大鳥道子墓碑銘原稿)	明治12年7月	(大鳥)圭介		状	1	虫損 朱書入り
5	(漢詩原稿)	明治12~14年4月	(大鳥圭介)		冊	1	23丁 汚れ「明治12年4月東海京畿山陰九州紀行中所載」
6	拙篆(大鳥圭介の落款印影あり)	明治14年2月	於鎮影山房 乾堂管榮)		状	1	包紙あり 虫損 汚れ しみ
7	(漢詩帖)	明治16~23年)	(大鳥圭介)		冊	1	15丁 鼠損 汚れ 碧雲茗園罫紙 宿湯本温泉(早雲寺)あり
8	崇朝 釘鑑(和歌)	明治18~20年	(如楓 大鳥圭介)		冊	1	27丁 虫損 碧雲茗園罫紙 表紙あり 裏表紙に「学習院にて学生諸子と写絵せしときよめる」別紙1枚挟込み
9	北征稿(北京滞在中の漢詩・和歌)	明治22年11月~24年	如楓(大鳥圭介)		冊	1	22丁 日本国駐清公使館罫紙
10	口元烈士之碑銘(明治元年名古屋藩庁に於て処刑された14名の藩士大赦に依り消滅)	明治23年3月	麟斎 一色重熙		冊	1	5丁 致遠館原稿用紙
11	北征稿 第二(北京・京城滞在中の漢詩・和歌)	明治24年9月~26年	如楓(大鳥圭介)		冊	1	20丁 墨しみ 下部一部欠 日本国駐清公使館罫紙
12	大唐平百 濟国碑銘(碑文写)	(明治26年)			冊	1	掛紙「袁世凱所贈 明治26年12月3日収京城公使館 圭介識」
13	漢詩(野水参差落漲痕疏林端倒…)		在江南 口葉村 胡惟徳		状	1	落款あり
14	漢詩(積水不可極焉…)		合肥 李 鴻章		状	1	絹本 汚れあり 合肥は出身地
15	漢詩		如楓散人(大鳥圭介)		状	1	絹本 汚れあり 落款あり
16	(大鳥公使・如楓呈上の漢詩)			(大鳥圭介)	状	9	大鳥公使宛は8枚、内1枚は絹本
17	(詩稿)	明治31~33年	(大鳥圭介)		冊	1	26丁 汚れ 水濡れ色移り 下部鼠損
18	1 明治三十五年十一月二十日乳母刀自中西錦今朝六時半見まかりぬ(大鳥家子どもの乳母享年七五歳、大崎村最上寺に葬る)	明治35年11月21日	(大鳥圭介)		状	1	虫損
	2 明治三十五年十一月二十一日弔歌	明治35年11月21日	(大鳥圭介)		状	1	虫損

19	如楓詩草第九卷(写本 明治33~35年)	1月18日	(大鳥圭介)		冊	1	17丁 しみ 鼠損 「国府津潮湿ノ分清書」 「1月18日於湯河原」
20	草稿 十二	明治36年~38年	(大鳥)圭介		冊	1	28丁 汚れ 鼠損
21	雞林一抜(如楓詩草第七卷 明治27~29年 写本)	明治37年1月27日完了	(大鳥)圭介		冊	1	19丁 下部しみ 鼠損 「国府津潮湿ノ分清書」 「右二冊浄写於湯河原富士屋」 国府津・熱海の作品あり
22	詩稿 卷十二 明治三十八年三月	明治38年3~8月	(大鳥圭介)		冊	1	26丁 汚れ しみ 鼠損 箱根・熱海の作品あり
23	喜迎七十四年春二月下旬之誕辰況又今朝陸二位天恩潤沢及誠身	(明治39年か)			状	1	
24	吟艸 卷十三	明治39~41年	春植口人(大鳥圭介)		冊	1	29丁 汚れ 「明治39年12月6日於鴻津葦屋別墅」 箱根・足柄・湯河原の作品あり
25	吟艸 卷十(明治35~36年写本)	明治40年6月	(大鳥圭介)		冊	1	12丁 しみ 虫損小
26	不老泉詩歌近稿 第十四卷 明治四十一年九月圭介手記	明治41~43年	(大鳥)圭介		冊	1	28丁 汚れ 虫損 小田原・酒匂・箱根・湯河原の歌あり
27	(塩原温泉で詠める歌、草稿)	(明治41年か)	七十七叟 (大鳥)圭介		状	1	
28	明治四十二年十月 富士太郎ぬしの総領事に任せられ浦潮港に赴かるを送るとして(和歌)	明治42年10月	(大鳥)圭介		状	1	
29	不老泉吟稿 十五 七十九如楓[] 明治四十三年十月	明治43・44年	如楓(大鳥圭介)		冊	1	26丁 虫損 3丁下部欠損 26丁のうち9丁以下未記入
30	何柯集(原稿)		如楓散人(大鳥圭介)		冊	1	21丁 汚れ 鼠損 虫損 内務省罫紙
31	(矧川兄に乞れ和歌3首、客舎晚餐漢詩1篇)		老楓(大鳥圭介)	矧川(志賀重昂)	状	1	人車馳は湯河原辺か?
32	庚申夏 詩稿		扶揺里主人		冊	1	21丁 表紙汚れ・しみ
33	大鳥圭介詩歌集(和歌・漢詩草稿)						
	1 樵漁相對図(漢詩)		如楓圭介(大鳥)		状	1	
	2 秋暮(和歌)		(大鳥)圭介		状	1	九華堂製用箋
	3 朝兒(和歌)		(大鳥)圭介		状	1	九華堂製用箋
	4 江戸ふし集のはしかきに(和歌)		(大鳥)圭介		状	1	九華堂製用箋
	5 父子免厄(和歌)		如楓(大鳥圭介)		状	1	九華堂製用箋
	6 牽牛夜(和歌)		如楓(大鳥圭介)		状	1	九華堂製用箋
	7 席を送り兔をむかへて(和歌)	明治35年尽日	(大鳥)圭介		状	1	九華堂製用箋
	8 (席を送り兔をむかへて 和歌)	明治35年尽日	(大鳥)圭介		状	1	九華堂製用箋
	9 秋夜(和歌)		(大鳥)圭介		状	1	九華堂製用箋
	10 湯河原談中早起(和歌)		如楓(大鳥圭介)		状	1	九華堂製用箋
	11 蔦紅葉(和歌)		鈿?石		状	1	九華堂製用箋
	12 香竹祝 永井介重翁七十賀によみておく		(大鳥圭介)	永井介重	状	1	
	13 明治三十七年九月之手紙 勇者の先かけ(和歌) 百戦百勝(漢詩)	明治37年9月	如風圭介(大鳥)		状	1	
	14 一谷懷古		(大鳥)圭介		状	1	
	15 新年山(和歌) 秋日山家(和歌)		(大鳥)圭介		状	1	
	16 (和歌下書)				状	1	6枚
	17 (和歌・漢詩下書)				状	1	
	18 (和歌下書)				状	1	
	19 (次郎の平安帰朝を賦す 和歌・漢詩)	明治37年10月10日	(大鳥)圭介		状	1	

20	大石桜(和歌)		(大鳥)圭介	状	1	短冊
21	おのれ北京にありしとき仏国公使館書記官日本扇を出して大和歌かきてよといひたれば		如楓(大鳥圭介)	状	1	
22	(和歌下書)			状	1	
23	中台父子戦死之跡(和歌・漢詩)			状	1	
24	(和歌2首)			状	1	
25	春の末に雪ふりければ		(大鳥)圭介	状	1	
26	冬至		(大鳥)圭介	状	1	
27	(和歌4首)			状	1	
28	三日月		(大鳥)圭介	状	1	
29	(漢詩)	明治41年元旦	七十七叟 如楓(大鳥圭介)	状	1	
30	(漢詩題)	明治43年秋日	八十叟 如楓圭介	状	1	
31	(漢詩)	明治44年1月	如楓(大鳥圭介)	状	1	
32	古寺紅葉(和歌)		(大鳥)圭介	状	1	
33	花下遭友(和歌)			状	1	
34	大鳥圭介先生筆蹟			状	1	印刷物
35	こしおれ草(表紙のみ)	明治17年秋日	如楓(大鳥圭介)	状	1	
34	(大鳥圭介漢詩草稿)			状	1	包紙昭和8年8月23日付東京朝日新聞
1	夕日岡麓陸奥福堂墓(漢詩)		如楓圭介(大鳥)	状	1	九華堂製用箋
2	夏日園庭新引水(漢詩)		如楓圭介(大鳥)	状	1	九華堂製用箋
3	秋柳(和歌)		(大鳥)圭介	状	1	九華堂製用箋
4	湯河原談中(漢詩)		(大鳥)圭介	状	1	九華堂製用箋
5	訪友人海莊即時(漢詩)		如風圭介(大鳥)	状	1	九華堂製用箋
6	水浜晩歩(漢詩)		如楓老髯(大鳥圭介)	状	1	九華堂製用箋
7	三十五年九月四日天晴無風而海上怒濤…(漢詩)	明治35年9月4日		状	1	九華堂製用箋 国府津別荘を大海嘯が襲った時
8	初夏山村(漢詩)		如風圭介(大鳥)	状	1	九華堂製用箋
9	明治三十五年十一月大元帥陛下閱兵于九州熊本口感	明治35年11月	(大鳥)圭介	状	1	九華堂製用箋
10	(漢詩)		(大鳥)圭介	状	1	九華堂製用箋
11	三浦先生六十詩礎(3編、草稿)		(大鳥)圭介	冊	1	5丁
12	露艦来(漢詩・和歌)	明治38年5月27日		状	1	
13	小田原懐古		如楓(大鳥圭介)	状	1	
14	明治四十年冬日送六三子赴満洲(漢詩)		(大鳥)圭介	状	1	
15	送六三之満洲		如風圭介(大鳥)	状	1	
16	游小田原城後梅園(漢詩)			状	1	
17	(漢詩草稿)			状	1	鉛筆書き
18	(山村・夏日田家ほか漢詩草稿)			冊	1	3丁 桜水舎罫紙 汚れ 錯簡
19	(山家冬晩ほか漢詩草稿)			冊	1	2丁 内務省罫紙 汚れ
20	失題			状	1	
21	岩橋正智君之遺稿(漢詩)	明治43年秋日	如風圭介(大鳥)	状	1	
22	弔檀本子遠逝(漢詩)			状	1	
23	春晴対岳			状	1	
24	初冬山行		如楓老髯(大鳥圭介)	状	1	
25	種植日新利潤年豊			状	1	

35	26	(漢詩草稿)				状	1	
		(詩歌草稿)				状	1	
	1	明治三十年新春作(漢詩)	明治30年	翠織亭主人		状	1	
	2	(漢詩 七十老翁…)	明治33年	細?石居士		状	1	
	3	辛丑元旦	明治34年元旦	楓翁(大鳥圭介)		状	1	
	4	まひるのうた(歌謡)				状	1	
	5	社頭松(歌謡)		こしおれ圭介(大鳥)		状	1	
	6	小田原懐古(漢詩・和歌)				状	1	
	7	鴻津海荘春口・祝捷絶句旧作・秋来山家・冬朝				状	1	
	8	祝戦士凱旋(漢詩・和歌)				状	1	
	9	塩原留談中作・天狗巖・篝川の岸に立ち清き流れに臨みて(漢詩・和歌)		如楓(大鳥圭介)		状	1	
	10	出征せし軍人の妻に代りて				状	1	
	11	西の年の大三十日に(和歌)				状	1	
	12	余寒・春草(和歌)				状	1	
	13	ことしも湯河原にゆあみせんと思ひたちて…(和歌)				状	1	
	14	游于芝公園		如楓老髯(大鳥圭介)		状	1	
	15	山中春日		如楓散人(大鳥圭介)		状	1	落款あり
	16	佐久間貞一君十三回忌辰追悼二首(漢詩)		(大鳥)圭介		状	1	
	17	春禽				状	1	虫損
	18	相州国府津		如楓老髯(大鳥圭介)		状	1	
	19	(和歌草稿)				状	1	
	20	社頭松春				状	1	
	21	(夏木立… 和歌)	4月28日			状	1	
22	(たきつぼに… 和歌)	3月29日			状	1		
23	(末なかく… 和歌)		弘上		状	1	短冊	
36		靱山ノ詩(詩稿)						封筒入
	1	(漢詩 大鳥秘書官回東京併請雅正)		靱山逸 拝稿		状	1	
	2	明治三十八年十月二十三日大元帥陛下の観艦式に出ましを祝ひ奉りて(和歌)	明治38年10月23日	(大鳥)圭介		状	1	
	3	(中西貞子久住家にとつくと聞き 和歌)				状	1	
	4	(帝国大学卒業証書之栄乃賦一詩… 漢詩・和歌)		于北京 如楓老髯(大鳥圭介)	不二(富士太郎)	状	1	
	5	儉約(歌謡)				状	1	
37	6	枯竹(漢詩)		如楓老髯(大鳥圭介)		状	1	
		(詩歌草稿、下書、写し)				状	1	
	1	(和歌 朝な々々ふる春雨の…)				状	1	
	2	(漢詩 故友如何逝…)				状	1	
	3	(和歌3首)				状	1	
	4	(漢詩草稿)				状	1	
	5	(漢詩 養鷺ほか2首)				状	1	
	6	(和歌)				状	1	
	7	(和歌草稿)				状	1	
	8	(漢詩2首)				状	1	
9	(和歌)				状	1	2枚	
10	(雪中寒口)				状	1		

11	対馬海峡大戦全勝不勝喜乃賦一詩以表滿腔之祝意 (漢詩)		銅雀主人		状	1	
12	(漢詩)				状	1	
13	(漢詩)				状	1	
14	(漢詩)				状	1	
15	(和歌2首)	1月20日			状	1	
16	休憩				状	1	
17	(漢詩)				状	1	
18	(和歌)				状	1	
19	(和歌)				状	1	
20	(和歌)				状	1	
21	(和歌)				状	1	
38	(山水図 下絵ほか1枚)				状	2	
D. 大鳥家私文書 書類の部							
番号	表題	年月日	差出人	受取人	形態	数量	備考
1	下賜状(紫檀書棚 学習院長御免に付明宮殿下思召を以下賜)	明治21年7月20日	明宮御用掛 子爵 曾我祐準	元老院議官 大鳥圭介	状	1	虫損 上部しみ 封筒入
2	秘書(不動産・現金分配高、和睦申談我等の名誉を損せざる様致度候)	明治22年9月23日	大鳥圭介		状	1	
3	1 記(遺言書)	明治23年12月30日	於北京 大鳥圭介	(大鳥)於飛那・次郎・六三	状	1	封筒欠
	2 別紙(如楓后、墓碑銘文案)	(明治26年)			状	1	
4	1 播州石戸田畑山林等書附入				冊	1	11丁
	2 記・先祖調				冊	1	3丁
5	1 財産額並遺産分配案 明治三十四年一月十四日湯河原客舎明治三十四年一月三十一日国府津記了	明治34年1月	(大鳥)圭介		冊	1	11丁
	2 附言(遺言草稿)	明治33年1月	(大鳥)圭介		冊	1	2丁 しみ
6	明治三十九年八月現在家産	明治39年8月	(大鳥)圭介		冊	1	2丁
7	謝状(金百円 早稲田大学基本資金寄贈)	明治40年3月7日	早稲田大学校長 鳩山和夫外2名	男爵 大鳥圭介	状	1	早稲田大学封筒 虫損
8	現金之事 明治四十年四月二十四日於国府津	明治40年4月24日	(大鳥)圭介		状	2	
9	如楓家訓(原稿)	明治41年9月	於国府津別荘 大鳥圭介		冊	1	10丁
10	資産額 明治四十二年二月改	明治42年2月	於国府津 (大鳥)圭介		状	1	2枚
11	1 (賛助員に御推挙に付承諾被下候)	明治42年7月28日	早稲田大学々長 高田早苗	(麻布区三河台町)大鳥富士太郎	状	1	虫損小 早稲田大学封筒入
	2 (貴下を煩して本大学の賛助員と為す)	明治42年7月28日	早稲田大学々長 高田早苗	(麻布区三河台町)大鳥富士太郎	状	1	虫損小 早稲田大学封筒入
	3 賛助員規程				状	1	虫損小 早稲田大学封筒入
12	遺言	明治43年2月2日	大鳥圭介		冊	1	4丁
13	三月四日午後三時御命ニ依り片身分(幅物)	(明治44)3月4日			状	1	
14	故大鳥男薨去通知ヲ発シタル人名(ロシア人一覧)				状	1	罫紙2枚 ペンインク書

15	1	賞状(久良岐郡金沢村立尋常富岡小学校改築費の内へ寄附に付木杯下賜候)	大正6年3月20日	神奈川県知事 有 吉忠一	東京市麻布区三河台 町 大鳥蘭三郎	状	1	封筒入 封筒汚れ 賞状虫損
	2	(富岡小学校改築費の内へ金子寄附に付県知事より賞状・木杯下賜に付領票へ捺印返送被下度)	大正6年5月10日	久良岐郡金沢村長金 子賢次郎	大鳥蘭三郎	状	1	
16		大鳥家系譜				冊	1	表紙しみ 虫損
17		(先考履歴書)		神明町 赤松	三河台 大鳥返上			封筒入
	1	(履歴書 大鳥圭介)				冊	1	12丁 枢密院罫紙 メモ2枚入
	2	履歴書 一(明治32年まで)				冊	1	12丁 虫損 しみ
	3	履歴書 二(明治39年まで)				冊	1	4丁 虫損 しみ
	4	履歴書(明治5~14年)				冊	1	5丁
18		(遺産金に関する書付)				状	1	鉛筆書き
19		家訓 未定稿				冊	1	4丁 此君山房罫紙 虫損 左上しみ
20		家訓(原稿)				冊	1	15丁
21		家政整理(原稿)				冊	1	罫紙5枚
22		(家財道具書上)				状	1	
23		覚(調度品ほか品物設置場所、新別荘用)				状	1	下部変色 虫損
24		(大鳥圭介胸像写真)				状	1	裏面の銘写しあり 明治31年9月工学士 久米民之助 所蔵者山北町松永光良より 小田原城天守閣宛手紙あり
25		桓武天皇御子孫(写し)				横	1	
26		(分配金計算書)				冊	1	国府津小学校あり
27		封筒(密・要書・本野参事官携帯)				状	3	

Ⅴ. 書簡・葉書

番号	表題	年月日	差出人	受取人	形態	数量	備考
【大鳥圭介宛書簡・葉書】							
1	書簡(御見舞状、稲毛村精選の鶏卵を呈)	明治33年3月3日	黒田清隆	赤十字社御入院 大鳥圭介 御看護中	状	1	幸便
2	書簡(内願の件御聴納被成成本望之到に奉存候)	明治37年11月25日	畿テ県西磐井郡関町 本間定治	麻布東鳥居坂町 大 鳥圭介	状	1	消印 陸中一関明治37年11月25日
3	1 書簡(保晃会对安生事件の摘要相認郵送に付)	明治39年6月10日	本所区向島須崎町 榎 本金八	麻布区鳥居坂 男爵大 鳥圭介	状	1	消印 明治39年6月11日
	2 契約書(日光保晃会と株式会社下野銀行及びひ安生順 四郎と当事者間にて契約すること左の如し)				冊	1	2丁
	3 保晃会对安生順四郎事件摘要				冊	1	3丁
4	書簡(御話之件記載之分御送り被下度)	明治42年2月14日	上二番町 加藤弘之	麻布三河台 大鳥圭介 (如楓先生)	状	1	消印 麻布明治42年6月18日 封筒下部 しみ
5	葉書(年始状 西安府古刹慈恩寺之塔・大義山暮色・ 北京城山之雪景)	明治44年1月1日	北京樸園にて 福田 周太郎	神奈川県国府津 大 鳥男爵(圭介)	状	3	消印 国府津明治44年1月21日
6	口上(御切米天氣次第御渡申候間御案内申上候)	丑10月14日	板倉屋作兵衛	大鳥圭介御内衆中	状	1	切封 虫損 近世のものか
7	書簡(日蓮宗の脇田堯恂師宗教普及の為渡韓に付御 紹介仕候間相応の御保護被下度)	8月9日	長岡護美	大鳥圭介	状	1	幸便
8	書簡(古今沿革図誌2部御献上相成両陛下御手元に差 上候)	10月25日	岩倉具定	正三位 大鳥圭介	状	1	幸便 虫損小

【大鳥富士太郎・家族宛書簡・葉書】						
9	書簡(国府津昨年この頃よりも風涼しく子ども召連れ道了山に赴き…)	明治23年7月30日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1 封筒入 幸便
10	書簡(当地一昨日来鬱陶敷天氣に困入、昨夕眼鏡を見失ひ細字本読みからく、27日帰京之事)	明治34年6月24日	国府津大鳥別荘 (大鳥)圭介	東京麻布東鳥居坂 大鳥(富士太郎)	状	1 消印 東京明治34年6月24日
11	書簡(官報にて本地御在勤之事承知仕候、小生一寸帰朝いたし度に付早目に御着任を望む次第に御座候)	明治34年11月29日	韓国京城 林 権助	東京麻布東鳥居坂 大鳥富士太郎	状	1 消印 東京明治34年12月5日
12	書簡(端書郵便にて委敷相分り同慶罷在候、次郎澳・伊・瑞に旅行に付、昨夜良子男子出産、28日は高浪災難一周年に当り小宴相開候)	(明治36年)9月30日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1 封筒欠
13	書簡(外務省書記官としての富士太郎への進言)	(明治40年)2月21日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1 封筒欠
14	書簡(3月22日頃外務省石井氏に面会猩紅熱に罹り候由、経過順当御快方御健康之事と推察、良子17日讀岐丸にて出発に付)	(明治40年)4月9日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1 封筒欠
15	書簡(良子両児航行出発後処々安着通知有之、老生病氣治療之義に付、金3000円送付の件)	(明治40年)6月8日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1 封筒欠
16	書簡(黒死病蔓延との事新聞上に見え心配不少候、御昇進の儀悦申上候、為替金落手)	(明治40年)6月15日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1 封筒欠
17	書簡(会議相済候得共其儘留任なりしと、妻子安着後無事ならん、老生眼病の事)	(明治40年)6月19日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎・良子	状	1 封筒欠
18	書簡(明治34年頃余左眼白内障に罹り全く明を失し川本博士の診断を受け…明治40年5月初旬東京大学眼科病院に入り14日手術を受けたり)	明治40年6月	大鳥圭介		状	1 封筒欠
19	書簡(良子・両児着後無事との事、国府津新築の事、本月3日引越無事に済み、六三の事、眼病経過に付)	(明治40年)7月7日	於国府津 (大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎・良子	状	1 封筒欠
20	書簡(万国平和会議之用務で和蘭国に赴いた富士太郎・良子へ孫の健康の心配を記したもの)	明治40年7月31日	於国府津別墅 如楓 (大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎・良子	状	1 封筒欠 糊剥離
21	書簡(平和会議も9月中に閉会之趣、良子より申越之品物鈴周旋大箱1個発送、金1000円は銀行の都合有之に付11月末に差立可申候)	(明治40年)9月16日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎・良子	状	1 封筒欠
22	書簡(其地生計中心配之事3000円御送り申度、都合宜敷方に転住ならん事を希望致し候、国府津での生活、家族の近況)	明治40年10月6日	於国府津 如楓(大鳥圭介)	御兩人(大鳥富士太郎・良子)綾子・圭三	状	1 封筒欠
23	書簡(洋製肉食3度もは如何、平和会議残務取纏に多忙と察候、金子送金の事、六三南満鉄道入社大連に渡航に付)	明治40年11月1日	(大鳥)圭介	御兩人(大鳥富士太郎・良子)	状	1 封筒欠
24	書簡(六三出身之件後藤に内談満洲鉄道会社へ入社取計具に付、足下此後之官途希望如何)	(明治40年)11月12日	(大鳥)圭介	御兩人(大鳥富士太郎・良子)	状	1 封筒欠
25	書簡(送金1500円は正金銀行に托し12月2日出しに付12月末迄には御請取の運びと存候、写真披見、六三満洲鉄道会社に入り大連着)	(明治40年)11月29日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎・良子・綾子・圭	状	1 封筒欠
26	書簡(国府津での生活の様子、玉枝・鴻子の事、4月28日築地新喜楽で77の寿筵開き事、松島艦澎湖島港にて爆発の事)	(明治41年)5月24日	於国府津 如楓(大鳥圭介)	御兩人(大鳥富士太郎・良子)	状	1 松島艦爆発は明治41年4月30日 封筒欠

27		書簡(稻名儀赤松則良二男喬二と11月に婚礼支度中に付)	(明治41年)10月22日	(大鳥)圭介	御兩人(大鳥富士太郎・良子)三児	状	1	封筒欠
28		書簡(8月撮影の写真東京より廻し来り皆々に面会の心地す)	(明治41年か)	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎・良子	状	1	封筒欠
29		書簡(12日久々にて帰京、25日帰荘、奥田20日頃ロッテルダムへ直航との事、欧州有名の都府、南満巡視六三に面会と察、荒井の病氣全快)	(明治42年)3月28日	如楓(大鳥)圭介	御兩人(大鳥)富士太郎・良子	状	1	封筒欠
30	1	書簡(老生之病症杉本と相談し青山博士に依頼来診之途致し居候)	(明治43年)2月25日	国府津 大鳥)圭介	敦賀經由浦潮ストック日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	封筒欠
	2	書簡(御病人様別段におかわりも御座なく、大病にならねばよろしとあんじ居り候、蘭三郎様持物の件)	(明治43年)2月25日	(鈴木)寿々	御奥様(大鳥)良子	状	1	封筒欠
31	1	書簡(25日湯河原より帰荘至極気分宜)	明治43年5月31日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1	同一封筒内に3通あり、2・3の書簡と日付けのずれあり 消印 敦賀明治43年6月2日
	2	書簡(老生容体あしき方には無之、六三下関より電知21日着と申来)	2月19日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1	
	3	書簡(当地瀧の前所有地へ隠居処建10月中に着手、鳶屋に滞留)	(明治40年)12月21日	(大鳥)圭介	(大鳥)富士太郎	状	1	
32		書簡(日本酒禁止之件、病氣回復之礼旁宮本小一へ近況申述置候)	明治43年6月8日	相州国府津 大鳥)圭介	敦賀大和田廻漕店気附 浦潮総領事館大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年6月11日
33		書簡(一ヶ月に相成候得共別段変事も無之に付)	明治43年6月23日	国府津 大鳥)圭介	敦賀大和田廻漕店気附浦潮斯徳日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年6月25日
34		書簡(8月1日発之良子一行4日頃其地安着之旨外務省電波有之、静岡・神奈川県下大水出水、福本於勝不快之由)	明治43年8月11日	国府津 大鳥)圭介	敦賀大和田廻漕店気附浦潮斯徳日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年8月16日
35		書簡(東海道筋天明以来の大水、酒匂・湯河原辺被害に付、老生病氣宜敷方にて)	明治43年8月17日	相州国府津 大鳥)圭介	敦賀港大和田廻漕店気付浦潮ストック日本総領事 大鳥富士太郎御兩人	状	1	消印 敦賀明治43年6月11日
36		書簡(御申越之件承知、綾・圭兩人30日発風山丸にて帰航当地にて御世話可致候、韓国併合まだ発表無之候得共注意專一に御座候)	明治43年8月29日	相州国府津 大鳥)圭介	敦賀港大和田廻漕店気附浦潮斯徳日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年8月29日
37	1	(綾・圭・豊彦とも9月2日安着大安心)	明治43年9月6日	相州国府津 大鳥)圭介	敦賀港大和田廻漕店気附浦潮斯徳日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年9月7日
	2	書簡(御三人様2日夕に無事安着、御子様方の事は御安じ下されまじく願上け候)	明治43年9月7日	(鈴木)寿々	奥様(大鳥)良子	状	1	

38		書簡(中溝妻君姫川・奈良兩人来診治療の処追々元気も増し養生之上当地へ参り候)	明治43年9月7日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気附浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎(御兩人)	状	1	消印 国府津明治43年9月8日 「第二信」
39	1	書簡(豊彦容体宜敷趣申来候、添女さがし取計のため鈴入京に付)	明治43年9月14日	相州国府津 鳥圭介	大 敦賀港大和田廻漕店 気附浦潮斯徳日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年9月7日
	2	葉書(豊彦様御容体堀川様御見舞下され殆ど全快に付御安神下され度)	明治43年9月10日	麻布三河台町 鳥内(すず)	大 相州国府津大鳥別荘 (大鳥圭介)	状	1	消印 敦賀明治43年9月15日
40		葉書(良子よりの手紙裕着と反物落手、鈴明日帰荘次第委敷可申候、女中の事如何なりしや)	明治43年9月25日	相州国府津 鳥圭介 内	大 敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年9月26日
41		書簡(豊彦事追々宜敷、26日鈴帰荘の際連帰りに付)	明治43年9月28日	相州国府津 鳥圭介	大 敦賀港大和田廻漕店 気附浦潮斯徳日本総領事館 大鳥富士太郎(御兩人)	状	1	消印 敦賀明治43年9月29日
42		書簡(豊彦元気よく当年中には歩行致し可申候)	明治43年10月4日	相州国府津 鳥圭介 内	大 敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年10月5日
43		書簡(圭三・蘭三郎近況に付)	明治43年10月18日	相州国府津 鳥圭介	大 敦賀港大和田廻漕店 気附浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎(御兩人)	状	1	消印 敦賀明治43年10月20日
44		書簡(久振にて小田原にて豊彦写真を撮影差出し可申候)	明治43年10月26日	東京 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気附浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎(御兩人)	状	1	消印 敦賀明治43年10月28日
45		書簡(コレラ・ベスト侵入予防配意御注意専一に候、写真・蜜柑送りの件に付)	明治43年11月27日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治43年11月28日
46		書簡(朝夕防寒専一之事、いつもの通り元気、皆々打寄大笑に御座候)	明治43年12月8日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎御兩人	状	1	消印 敦賀明治43年12月10日
47		書簡(当地蜜柑2箱差上に付、歳暮休校に付直三鈴と同伴参りに付、小嶋八重昨日安産女子出生)	明治43年12月25日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎御兩人	状	1	消印 敦賀明治43年12月26日
48		書簡(1月28日認の貴簡2月8日に収手、老生病気の儀奥田に財産取調分配之割合等雑事大略相定申候)	明治44年1(2)月8日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気附浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治44年1月1日書簡日付けと封筒日付け一致せず 書簡最後にこげつきの跡

49	1	書簡(綾風邪の気味、蘭三郎と鈴召連23日より国府津へ転地、両三日前には全快に付)	明治44年1月27日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎御 兩人	状	1	消印 敦賀明治44年1月29日
	2	御殿様の事まつまつ御無事、奥田様北海道行の事、あや子様風邪にて国府津行、豊様の事	明治44年1月27日	(鈴木)寿々	奥様(大鳥良子)	状	1	
50	1	書簡(貴書中強盗の件に付、圭三発熱麻疹との事、鈴を入京明日模様を見考に付)	明治44年2月4日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富士太郎御 兩人	状	1	消印 敦賀明治44年2月6日
	2	書簡(せきがでましたから23日国府津にまいりました、圭ちゃんのはしか、とよさんはあるけます)	明治44年2月4日	(大鳥)綾子	母上(大鳥良子)			
51	1	書簡(近来胃病起り食物胃にまわる迄に故障起ると被察、杉本招きゴム管を入れ検査模様は明日認に付)	明治44年2月8日	国府津 大鳥圭介	敦賀港大和田廻漕店 気付浦潮日本総領事館 大鳥富 士太郎	状	1	
	2	書簡(昨日杉本参り試候処食堂下部にふくれ有之と申、別段大したる梗塞も無之と申候)	明治44年2月9日	国府津 大鳥圭介	御兩人(大鳥富士太 郎・良子)			
52		書簡(9日の手紙の追啓、杉本の薬剤朝夕用居候、圭三の麻疹は全癒)	(明治44年)2月11日	(大鳥)圭介	御兩人(大鳥富士太 郎・良子)	状	1	切封
53		書簡(食事の転粗は暫時之辛抱と致候、圭三軽快)	明治44年2月17日	(大鳥)圭介	御兩人(大鳥富士太 郎・良子)	状	1	封筒の消印は明治41年だが、書簡の内容は明治44年で一致せず
54		書簡(5月1日佐藤公使歓迎会に静養中にて出席仕兼次第遺憾奉存候)	大正2年4月26日	鎌倉 都筑馨六	東京外務省 大鳥富士太郎	状	1	年代は封筒消印より推定
55		書簡(韓国併合記念章并書類御廻付被下拝収仕候)	大正2年6月11日	中目黒 高平小五郎	外務省 大鳥人事課長 (富士太郎)	状	1	
56		書簡(小生恩給之件に関する取調の結果御報知被下奉万謝御礼)	大正2年10月13日	麴町区二番町 加藤高明	外務省にて 大鳥富士太郎	状	1	消印 大正2年10月13日
57		書簡(礼状)	大正3年7月2日	小石川区大塚仲町荒井隆(富子)	麻布区三河台町 大鳥富士太郎	状	1	
58		書簡(先代意向南柯戦記恩借被下御礼)	大正3年10月8日	呉海軍官舎 谷口尚真	牛込区市谷加賀町 大鳥富士太郎	状	1	
59		書簡(先代遺物海軍兵学校教育参考館へ寄贈送付被成下御礼)	大正3年10月10日	呉海軍官舎 谷口尚真	牛込区市谷加賀町 大鳥富士太郎	状	1	
60		書簡(呉鎮守府指令長官谷口大將を経て本校教育参考館へ陸軍軍服及鎖帷衣寄贈、南柯紀行貸与に付御礼)	(大正3年10月)	海軍兵学校長 鳥巢玉樹	牛込区市谷加賀町 大鳥富士太郎	状	1	消印 江田島大正3年10月13日
61		書簡(谷口呉鎮守府長官經由にて本校教育参考館に「南柯紀行」御貸与被下御礼)	(大正3年)11月19日	海軍兵学校長 鳥巢玉樹	牛込区市谷加賀町 大鳥富士太郎	状	1	
62		書簡(御外勤に付態々本省へ申通被下奉多謝候)	大正4年7月	京橋区尾張町末広俱樂部 矢野文雄	麻布区三河台町 大鳥富士太郎令夫人	状	1	消印 大正4年7月
63		書簡(先日御話の件、岩波を通して先方へ問合せ別紙の通返事参候)	大正11年10月24日	小石川西青町 狩野亨吉	麻布区三河台町 大鳥富士太郎	状	1	消印 赤阪大正11年10月24日 糊剥離
64		書簡(日蘭協会組織に付別紙規則を制定致に付)	大正14年4月4日	巢鴨町 伯爵 松浦厚	麻布区三河台町 大鳥富士太郎	状	1	消印 (大正14)年4月5日 下部しみ変色あり

65		書簡(晚餐差上度候間来月8日新喜楽御光臨被下候)	大正14年6月22日	三田台町 牧野伸顕	麻布三河台 大鳥富士太郎	状	1	
66		書簡(3月6日神奈川県富岡学庵に於て三水会御会遊を乞ひ度御案内)	2月28日	牛込若宮町 川合玉堂	麻布三河台町 大鳥男爵(富士太郎)	状	1	
67		書簡(本校教育参考館に広瀬中佐の形見の望遠鏡御寄贈を辱し御礼)	(大正)	海軍呉学校長 永野修身	牛込区市谷加賀町 大鳥富士太郎	状	1	消印 敦賀明治44年1月7日
68		広瀬武夫氏ヨリ大鳥次郎氏へ双眼鏡送付ヲ依頼スル紙片(封筒上書、封筒のみ)	(大正)			封筒	1	海軍兵学校へ寄贈のものか?
69		書簡(先般の謝礼として金300円送下され御受仕候)	昭和2年?12月15日	川合玉堂	湯河原箱根屋 大鳥男爵(富士太郎)	状	1	消印 2年12月15日
70		書簡(明治倶楽部之義調査委員の報告により解散、再び結社致し度日本倶楽部へ合同の件総会出席の了解散決議相成度)	3月30日	王子西ヶ原 陸奥広吉	麻布区東鳥居町 大鳥富士太郎	状	1	封筒欠 糊剥離
71		書簡(御願申上候出願御交付被下旨難有奉存候)	5月17日	牛込区弘方町 穂積陳重	外務省人事課 大鳥富士太郎	状	1	幸便
72		書簡(豚児正男方へ妻を3ヶ月内に差立度、御省よりシベリア線にて御旅行の方は有り間敷哉)	7月10日	京橋区尾張町末広俱樂部 矢野文雄	麻区三河台 大鳥富士太郎	状	1	封筒欠
73		書簡(13日結婚媒酌人急差支に付媒介人を御願申上度に付)	10月12日	島田岡太郎	大鳥富士太郎	状	1	幸便
74		書簡(高島氏墨西哥国事情に關し御高話拝聴致度御引見御許可被成下度)	10月14日	大阪緒方病院 緒方銚次郎	大鳥富士太郎	状	1	幸便 「高島信義氏紹介」
75		書簡(25日大坂へ参り26日当地発足、熱海へ泊12月1日帰京の考、福本於勝母子尋参り2泊し帰候)	11月24日	(大鳥圭介)	大鳥富士太郎	状	1	
76		書簡(楠田仙巖君紹介申上候に付御面会被下度)		目黒村三田 大木遠吉	麻布区三河台 大鳥富士太郎	状	1	「楠田君持参」
77	1	絵葉書(今朝は普賢という絶頂へ)	大正13年5月	パパ(大鳥富士太郎)	麻布区三河台 大鳥蘭三郎	状	1	消印 温泉大正13年5月28日
	2	絵葉書(今日は山を下ります)	大正13年5月	パパ(大鳥富士太郎)	麻布区三河台 大鳥純子	状	1	
	3	絵葉書(画の様な花はありませんで残念でした)	大正13年5月	パパ(大鳥富士太郎)	麻布区三河台大鳥富士太郎方 大鳥百合子	状	1	
78	1	葉書(年賀状)	昭和11年1月1日	渋谷区代々木サンヤ町 オカザキツネタロウ	大阪府豊能郡箕面村 桜井 大鳥圭三	状	1	
	2	葉書(年賀状)	昭和11年1月1日	北海道室蘭市緑町 村松聡吉	大阪府豊能郡箕面村 桜井 大鳥圭三	状	1	
	3	葉書(年賀状)	昭和11年1月1日	愛知県西加茂郡猿投井上五郎	大阪府豊能郡箕面村 桜井 大鳥圭三	状	1	
	4	葉書(年賀状)	昭和11年1月1日	岐阜市多賀町 遠藤宗雄	大阪府豊能郡箕面村 桜井 大鳥圭三	状	1	
	5	葉書(年賀状)	昭和11年1月1日	赤坂区青山北町 中田益彦	大阪府豊能郡箕面村 桜井 大鳥圭三	状	1	
	6	葉書(年賀状)	昭和11年1月1日	神戸市湊東区多聞通シンガー裁縫機会会社ウオーレー	大阪府豊能郡箕面村 桜井 大鳥圭三	状	1	

79		葉書(御静養の由何よりと存じます)	昭和12年10月	東京牛込加賀町 井本千代子	神奈川県国府津町岡大島良子	状	1	
80		絵葉書(福井氏御依頼の尋ね人は小生の知人内山総領事に頼み可申候)	昭和13年8月27日	リオ丸ニテ 井忠吉	大島圭三	状	1	名刺共 シンガポール行の船中より
81		絵葉書(帰朝の際は御配慮を蒙り、出達の際は結構な品を御送被下御礼)	8月10日	高橋	大垣市 浅井秀雄	状	1	外国郵便 二枚貼りついた状態で剥離不可能
【大鳥次郎宛書簡・葉書】								
82	1	書簡(学問之道も山川旅行と同様に付)	明治25年9月15日	北京 大島圭介	日本東京麻布東鳥居坂町 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治25年9月29日 次郎・六三・ひな子宛同封
	2	書簡(昨春インフルエンザに罹り…)		北京 大島圭介	(大島)六三	状	1	
	3	書簡(大学総長加藤よりの送電は受取に付)		北京 大島圭介	(大島)ひな子	状	1	
83		書簡(水雷術卒業試験先月31日結了、卒業証書授与式に転任の辞令も受ることならん)	明治26年11月5日	長浦 広瀬武夫	東京北豊島郡日暮里大鳥次郎	状	1	糊剥離
84		書簡(浪速の遠航を命せられ、日暮里迄御訪申御不在に付、御真影感謝の至に堪へず、御舎第六三君病氣御見舞)	明治26年11月18日	長浦 迅鯨 広瀬武夫	東京北豊島郡日暮里村 大鳥次郎	状	1	消印 明治26年11月19日 糊剥離
85		書簡(小生激戦中之挙動に関し賛辞を下され慙愧至極に御座候、海洋島の一戦の事)	明治27年12月22日	佐世保鎮守府監督部 軍艦松島 湯浅竹次郎	麻布区東鳥居町 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治27年12月30日 「私用軍事郵便」
86		書簡(御依頼 朝鮮及渤海近傍百分一図・支那三省地図・印度哲学・胆力養生法郵送被下度)	明治27年12月23日	広瀬武夫	大鳥次郎	状	1	消印 佐世保明治27年11月30日
87		書簡(明日好天気なれば出艇の筈に付木曜正午過には在港、御光来被下候)	明治28年8月21日	二号水雷艇 広瀬武夫	相州国府津駅 大鳥次郎	状	1	消印 国府津明治28年8月21日 糊剥離
88		書簡(今度十八号艇長を命せられ候)	明治28年10月24日	横須賀水雷隊攻撃部 第十八号艇 広瀬武夫	東京本郷西須賀町 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治28年10月25日 糊剥離
89		書簡(御勉強は肝要の至、朝鮮のこと云ふに忍びず、2月18日横浜沖に於て艇を蒸気船の為に衝突せられ大破損を受く、明後日出京に付)	消印 東京明治29年3月5日	横須賀船渠内第十八号艇 広瀬武夫	東京本郷西須賀町 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治29年3月5日 糊剥離
90		葉書(5日無事佐世保に帰着仕候)	明治29年10月7日	軍艦警城 広瀬武夫	東京本郷三丁目 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治29年10月10日
91		葉書(今日前11時半品海に投錨に付御在宅被下度)	明治29年11月13日	はんじやう 広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治29年11月17日 青鉛筆書き
92		葉書(本艦の在泊日数は未定に候へ共16日には上陸の期を可得に付御待奉煩候)	明治29年11月17日	臨海警城 (広瀬)武夫	府下本郷三丁目 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治29年11月17日
93		書簡(本艦は当分の内発航を企てず、冬期休暇の都合よくば御来遊)	明治29年12月	横須賀泊警城 広瀬武夫	東京麻布東鳥居坂 大鳥次郎	状	1	消印 東京明治29年12月23日
94		書簡(16日には出京、六三君に拝眉致候、試験結了後下宿に来訪を待つ)	(明治29年)	横須賀水雷隊攻撃部 広瀬武夫	東京麻布東鳥居坂 大鳥次郎	状	1	糊剥離
95		書簡(明後日帰艦可致候に付今晚御来訪の程)	明治30年1月18日	駿河台鈴木町日下部方 広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	状	1	消印 東京神田明治30年1月18日
96		葉書(今日より當下宿に寄寓致に付御光来可被下候)	(明治30年)2月12日	鈴木町日下部方 広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	状	1	消印 2月12日
97		書簡(小生9日を以て軍司令部出仕為仰付今日着任に付)	明治30年3月12日	麴町下六番町 広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	状	1	消印 東京麴町明治30年3月13日

98	葉書(来日曜御光来待入候)	明治30年4月15日	麻布霞町 広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京麻布明治30年4月16日
99	葉書(麻布区霞町に転宿致候に付通知)	明治30年6月25日	広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	大	状	1	消印 6月25日 コンニャク版
100	葉書(昨日麻布区今井町に転寓仕候、本日露国留学の辞令を拝受仕候)	明治30年6月26日	広瀬武夫	本郷三丁目 大鳥次郎	大	状	1	消印 めいじ30n遠6月26日 コンニャク版
101	書簡(9月26日無事着露落付申候)	明治30年10月3日	露都に於て 広瀬武夫	麻布区東鳥居坂町 大鳥次郎(・六三)	大	状	1	「30年11月14日」イギリス経由 封筒汚損
102	書簡(露に於ては利便悪しきこと故御恫察の上新刊書あらば御贈付度、語学には甚だ困難致居候、露の風俗の事)	明治30年11月8日	広瀬武夫	大日本東京本郷 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治30年12月20日 イギリス経由
103	グリーティングカード(謹賀新年)	明治31年1月1日	広瀬武夫	東京本郷 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治31年1月13日
104	書簡(露国でのクリスマス・正月、ドイツの膠州湾、ロシアの旅順占領の波紋、嘉納先生の去就について)	明治31年1月7日	在露 広瀬武夫	東京麻布東鳥居坂 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治31年2月14日
105	書簡(今年に入り交際場にも引出され舞踏会にも招待せられ当惑、露国の風習の事)	明治31年2月26日	(広瀬)武夫	東京麻布東鳥居坂 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治31年4月10日
106	書簡(近況、御写真拝受、拙影一葉は9日林公使の手つから撮影を試みられしもの、西米戦争の事、本邦の対外硬の事)	明治31年6月12日	(広瀬)武夫	東京麻布東鳥居坂 大鳥次郎	大	状	1	消印 明治31年7月25日 広瀬武夫写真在中
107	書簡(5月6日無事シドニー港に安着、戦勝後の結果として支那人に対するが如く公然排斥運動に議会に勢力を有する由、東洋の風雲益多事)	明治31年6月19日	濠洲シドニー港碇泊大日本軍艦金剛 湯浅竹次郎	本郷区本郷 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治31年7月31日
108	書簡(川島少佐・八代中佐と造兵造船所縦覧の際の出来事、語学実験上露の「ファミリー」に入候、露国皇帝の万国平和会議に付、嘉納先生の事)	明治31年9月11日	露都に於て (広瀬)武夫	東京本郷 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治31年10月14日
109	書簡(ブチャーチン伯の大帝時代の露国海軍反訳試居候、小官吏宅に寄寓、山本権兵衛大臣就任、嘉納先生の造士会の事)	明治31年12月5日	露都に於て (広瀬)武夫	東京本郷三丁目 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治32年1月16日
110	書簡(謹新年を賀す、小生氷滑にて僅に身体の運動を保ち居申候)	明治33年1月2日	(広瀬)武夫	東京本郷 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治33年2月13日
111	(大鳥次郎宛広瀬武夫封筒)		第廿号水雷艇 広瀬武夫	東京本郷根津西須賀町 大鳥次郎	大	状	1	消印 東京明治29年4月22日 書簡欠
【大鳥六三宛書簡・葉書】								
112	書簡(前日御約束の拙影呈上仕候)	明治26年1月27日	横須賀港軍艦筑波 広瀬武夫	東京麻布東鳥居坂町 大鳥六三	大	状	1	消印 東京明治26年1月27日
113	書簡(御病気の由御見舞可致と存候処軍艦浪速の出艦に帰横致遺憾に付)	明治26年11月18日	軍艦迅鯨 広瀬武夫	麻布区東鳥居坂町 大鳥六三	大	状	1	消印 東京明治26年11月19日
114	書簡(無事着仙目出度存候、学問は必ず御軽蔑なく勉勵嗜有之度)	明治28年9月23日	横須賀水雷隊攻撃部 広瀬武夫	仙台空堀町 大鳥六三	大	状	1	消印 仙台明治28年9月24日
115	書簡(冬期休暇に拝顔を得て疎情を慰度と楽居候、招魂社に付13日より4日間衆の縦覧を許し19日帰浦の都合に有之)	明治28年12月15日	東京永代橋下流第16号水雷艇 広瀬武夫	仙台道場小路 大鳥六三	大	状	1	消印 仙台明治28年12月16日
116	書簡(先月来より修理の為入渠致居候、4月春期休業御帰京あらば拝顔を得ん、4月1日より水雷団官制の元に立つことに有之)	明治29年3月19日	横須賀水雷隊攻撃部 広瀬武夫	仙台市道場小路 大鳥六三	大	状	1	消印 仙台明治29年3月20日

117		書簡(新年は出京せず帰省、大もてに煩殺致され候)	明治30年2月13日	横須賀水雷隊攻撃部 広瀬武夫	仙台市道場小路 大 鳥六三	状	1	消印 仙台明治30年2月13日
118		葉書(9日を以て軍令部出仕為仰付に付)	明治30年3月13日	広瀬武夫	仙台第二高等学校 大 鳥六三	状	1	消印 3月14日
119		書簡(昨春以来拝晤の機を失ひ懐しき至御憐察可被下候、小生4月14日軍令部諜報課に補せられ申候)	明治30年6月1日	麻布区霞町 広 瀬武夫	仙台第二高等学校学 生 大鳥六三	状	1	消印 仙台明治30年6月2日
120		書簡(高等学校の御卒業を篤し申候)	明治31年9月21日	(広瀬)武夫	東京麻布東鳥居坂 大 鳥六郎(三)	状	1	消印 東京明治31年11月5日
121		書簡(日本の政客自党自己の利を握むるに汲々とし国家の大計を外にするが如きは憤慨に不堪、露帝の万国平和提議の事、日本の学生の風俗の事)	明治31年9月23日	在露 広瀬武夫	仙台第二高等学校学 生 大鳥六三	状	1	消印 仙台明治31年11月9日
122		グリーティングカード(謹賀新年)	明治32年1月1日	在露京 広瀬武夫	仙台第二高等学校 大 鳥六三	状	1	消印 仙台明治32年2月14日「二月十七日披見」アメリカ經由
123		絵葉書(年賀状)	明治34年1月1日	(広瀬)武夫	東京麻布東鳥居坂 大 鳥六三	状	1	消印 東京明治34年2月1日 アメリカ經由便
124		書簡(小生帰朝の砌は御出迎感謝の至に不堪候、軍港視察を被命、已に新しき任命を見る始末に付)	明治35年5月20日	横須賀軍艦朝日 広 瀬武夫	東京本郷帝国大学法 科 大鳥六三	状	1	消印 東京明治35年5月20日
125		書簡(今日京城良子より手紙着、一同安着、徳子妃壯健之由、病人の容体と看護人赤崎の事)	明治35年10月23日	麻布鳥居坂 大 鳥(圭介)	本郷西須賀町 大 鳥六三	状	1	消印 東京飯田町明治35年10月24日 封筒上部しみ・変色
126	1	書簡(博覧会審査相済、徳川老公博覧会場巡視の後21日見送申上、赤松邨太郎給与の件、富士太郎帰国之由に付)	明治36年5月21日	大阪桃山東町安部別 荘 大鳥圭介	東京麻布東鳥居坂 大 鳥六三	状	1	消印 東京麻布明治36年5月23日
	2	書簡(博覧会も追々人出多く、20日には御臨幸に付多忙罷在、審査も先月来着手中に付)	明治36年4月5日	(大鳥)圭介	(大鳥)六三	状	1	封筒欠
127		書簡(新年の御慶御申述可被下候、今日海軍士官学校戦術講習生に指命の内意を受12日より2週間滞京に付)	明治36年1月7日	(広瀬)武夫	麻布区東鳥居町 大 鳥六三	状	1	消印 東京明治36年1月8日
128		葉書(武夫事碌々勤務罷在候朝日常備艦隊に編入せられ、行動如何は新誌にて御承知被下度)	明治36年8月21日	舞鶴にて (広瀬)武夫	麻布区東鳥居町 大 鳥六三	状	1	消印 東京中央明治36年8月28日
129		葉書(時局の遷延にはもどかしく日夜扼腕発動の当日を待入申候)	(明治37年)2月3日	佐世保碓泊軍艦朝日 広瀬武夫	麻布区東鳥居 大 鳥六三	状	1	
130		書簡(老生便通不宜21日帰京、帰京の節鳥渡国府津に立寄施肥、修繕御取計被下度)	明治37年8月26日	東京麻布 大鳥圭介	伊豆国戸田 大学水泳 所 大鳥六三	状	1	消印 蕪山明治37年8月26日
131		書簡(一昨日安着、地所之改正計画請負之事業見付置、海岸に出かけ旧別荘跡一見今昔之情に不堪)	(明治39年)8月5日	国府津薦やにて 大 鳥内(圭介)	麻布区東鳥居町 大 鳥(六三)	状	1	
132		書簡(赤坂重谷邸の事、宅地の事委敷御報知被下致候、国府津山手地所1万円迄にて望人有之に付、松坂屋の事)	明治39年8月	相州箱根芦の湯松坂 方 大鳥内(圭介)	東京麻布東鳥居坂 大 鳥(六三)	状	1	消印 箱根明治39年8月8日
133		書簡(芝新堀町貸家之儀御検査之上委敷御申越被下度)	明治39年8月8日	芦之湯松坂や 大 鳥内(圭介)	東京麻布東鳥居坂 大 鳥(六三)	状	1	消印 明治39年8月9日 虫損
134		書簡(子供と箱根歩行、借家之義困入の事、老生も色々工夫致居候、奥田へも相談被下候、杉村夫人の事)	明治39年8月13日	箱根芦ノ湯松坂屋 大 鳥内(圭介)	東京麻布東鳥居坂町 大鳥(六三・良子)	状	1	消印 麻布明治39年8月15日
135		書簡(家宅修繕大抵片付に付、長谷川・剣持への歳暮は取計申候、蜜柑代50円請取、他)	明治39年12月20日	国府津薦や 大 鳥内(圭介)	東京麻布三河台町 大 鳥六三	状	1	消印 麻布明治39年12月21日

136		書簡(貴簡拝展、老生26日帰宅、8、9日頃国府津へ参り湯河原へ入湯の考え、2月末迄逗留致度に付)	明治40年1月3日	東京麻布三河台町 大鳥圭介	千葉県一ノ宮 松涛亭 大鳥六三	状	1	消印 一宮明治40年1月5日 封筒しみあり
137		書簡(紀元節御案内書、西村葬儀一条、ウェルモット酒3本の件)	明治40年2月5日	相州湯河原ふしや 大鳥内(圭介)	東京麻布三河台町 大鳥(六三)	状	1	
138		書簡(小包収手致候、国府津工事追々はか取に付)	明治40年1月27日	相州湯河原 大鳥(圭介)	東京麻布三河台町 大鳥(六三)	状	1	
139		書簡(9日奥田兩人安着、亀屋へ申置の洋酒3瓶・缶詰3個とも落手御礼、菜根談の句揮毫の儀)	明治40年2月11日	相州湯河原ふしや 大鳥(圭介)	東京麻布三河台町 大鳥六三	状	1	
140		書簡(工事追々整頓、ポンプ工合宜敷、当別荘番号瀧の前2082番地、三好退蔵来訪、前川へ(別荘)建築の由)	明治40年7月5日	国府津 大鳥別荘(圭介)	東京麻布三河台町 大鳥六三	状	1	消印 麻布明治40年7月6日 三好退蔵は検事総長
141		書簡(従事の業務如何御考被成哉、御熟考之上出世之道取計の事御念致候)	明治40年9月	国府津別荘 大鳥圭介	東京麻布三河台町 大鳥六三	状	1	消印 麻布明治40年9月1日 封筒カビあり
142	1	書簡(材木の件年末之諸入費は銀行預ケ之内より御返し可被下候)	(明治40年)12月9日	(大鳥)圭介	(大鳥)六三 (奥田)象二	状	1	幸便
	2	書簡(工事場見分之処石垣出来に付)				状	1	11に同封
143		書簡(塩原いまた快癒不致困却、小川一真より上野博覧会へ出品の写真撮影之事問合せ来り、昨日蜂須賀侯・黒田老人も参る、吉浜村旅館4、5件増繁盛)	明治40年1月19日	相州湯河原ふしや 大鳥圭介	東京麻布三河台町 大鳥六三	状	1	消印 明治40年1月19日
144		書簡(富士太郎一行1日横浜着、7年振にて両児に面会、28、9日頃より老生快方に付)	明治42年9月2日	東京麻布三河台町 大鳥圭介	満洲大連鉄道会社棧橋荷扱所 大鳥六三	状	1	消印 明治42年9月9日
145		書簡(富士近日浦潮総領事拝諭間もなく赴任可致事と存候、赤松いな子安産母子壮健)	明治42年10月4日	相州国府津 大鳥圭介	満洲大連鉄道会社棧橋荷扱所 大鳥六三	状	1	消印 満大連明治42年10月13日
146		書簡(徴兵猶予之儀猶予は8ヶ月限にて本年同月にて切れに付、1年志願兵に可出願書面区役所へ差出し可申)	1月14日	麻布 大鳥(圭介)	本郷森川町 大鳥六三	状	1	
147		書簡(電報・端書・手荷物預り証等落手、大雨にて明12日発の考、大連丸神戸出航も10日に延引、証書入手紙の事)	7月11日	大阪桃山安部別荘 大鳥圭介	東京麻布東鳥居坂 大鳥六三	状	1	封筒上部しみ・変色
148		書簡(道中無事安着、大学へ在学する方得策に付、父上も申述候に付、貴下も父上に御話御願可然事奉存候)	9月16日	(大鳥)次郎	(大鳥)六三	状	1	封筒欠
149		葉書(高等学校御卒業奉賀候)	(明治31年)	露都(広瀬)武夫	東京鳥居坂 大鳥六三	状	1	消印東京 10月24日、明治31年か
【大鳥家皆々宛書簡・葉書】								
150		書簡(長谷川女仕出も時々余り、病気は先日之通りにて別段かはり候事も無之候9)	明治34年6月22日	国府津大鳥別荘 如楓(大鳥圭介)	東京麻布東鳥居坂 大鳥(皆々)	状	1	消印 東京明治34年6月23日
151		書簡(瀧の方へ参り蜜柑の様子を一見、富士太郎仁川安着電報可参候、蜂須賀氏葬式に代人御遣し可被成)	明治34年12月14日	国府津大鳥別荘 如楓(大鳥圭介)	東京麻布東鳥居坂 大鳥	状	1	消印 東京明治34年12月15日
152		葉書(昨夕一同無事着、13日湯河原に可参、12月26日の暴風雨で橋の石垣崩れ電車軌道に引懸り候)	明治35年1月10日	国府津別荘 大鳥圭介	東京麻布東鳥居坂 大鳥	状	1	消印 東京明治35年1月11日

153		葉書(時事新報13日より湯河原ふじやへ配達の件、15日黒田侯爵葬儀に代人遣之件)	明治35年1月11日	国府津 島内(圭介)	大 東京麻布東鳥居坂 大 島	大	状	1	消印 東京明治35年1月12日
154		葉書(当方皆々無事、コノワタ未夕届不申候)	明治35年1月19日	湯河原ふじや 島内(圭介)	大 東京麻布東鳥居坂 大 島	大	状	1	消印 東京明治35年1月20日
155		葉書(青山伊崎への出火見舞状出候由、コノワタ・蜜柑・書簡・トルストイ伝外落手致候)	明治35年1月21日	湯河原 島内(圭介)	大 東京麻布東鳥居坂 大 島	大	状	1	消印 東京明治35年1月23日
156		書簡(27日の宮内省より70高齢に御紋付御盃被下に付奥田代理頂戴之由誠に有難、2月3日に立出、国府津滞在後6日午後帰宅之考に付)	明治35年1月30日	相州湯河原ふじや 島内(ひけおや)	大 東京麻布東鳥居坂 大 島	大	状	1	
157		葉書(小包送り御手数之段御礼申上候)	明治36年3月11日	大阪桃山安部別荘 島(圭介)	大 東京府中東鳥居坂 大 島	大	状	1	消印 東京明治36年3月13日
158		書簡(六三昨晚無事帰宅、東海道筋諸川洪水汽車不通、10日之出発は11日に延し申候)	明治36年7月9日	大阪桃山安部別荘 島(圭介)	大 東京麻布東鳥居坂 大 島	大	状	1	
159		書簡(17日神戸出航6月1日香港着すらん、国府津瀧の前工事進み、6日大島病院にて眼病療治に付)	(明治40年)4月27日	於国府津 島圭介	(大 (大島)良子)		状	1	封筒欠
160		書簡(28日の御文拝見、ベルギー一良子外之手紙請取、鈴へ)	明治40年7月29日	国府津 島内(圭介)	大 東京麻布三河台町 大 島いな子(稲南子)	大	状	1	消印 国府津明治40年7月30日
161		書簡(紀元節の宮内大臣よりの案内状は奥田へ御相談式部職へ御断状差出し可申に付)	明治41年2月4日	相州湯河原ふじや方大 島(圭介)	大 東京麻布三河台町 大 島いな子	大	状	1	消印 麻布明治41年2月5日
162		書簡(25日3人とも御無事御帰宅と察申候)	明治41年2月25日	相州国府津大島別荘 如楓(大島圭介)	大 東京麻布三河台町 大 島いな子、皆々	大	状	1	
163	1	書簡(榎本姉鈴木歎月院病氣死去之趣、たれか代理として御遣し被下成度)	明治41年11月15日	国府津大島別荘 如楓(大島圭介)	大 東京麻布三河台町大 島別邸 稲苗子	大	状	1	消印 明治41年11月16日 稲苗子はいな子
	2	(婚礼の支度、書上げ)					状	1	
164		書簡(御申しは改安心、はしかの跡は格別之事あるまじくに付、学校の都合さへ宜敷は御出可被成候、別紙和歌2首)	明治42年7月7日	国府津大島別荘 (大島)圭介	大 東京麻布三河台町 み なみな	大	状	2	
165		書簡(昨8日出発、国府津、小田原から人車で午後3時半門川着、道中の事、六三は明10日出発の筈)	1月9日	如楓(大島圭介)	大島皆々		状	1	封筒欠 下部しみ変色 虫損
166		書簡(11月24日の御手紙拝見、近況について)	(明治)1月22日	寿々(すず)	奥様(大島良子)		状	1	封筒欠 玉枝を産んで間なしか?
【その他書簡・葉書】									
167		書簡(恭賀新正 元旦・1月の御題松上鶴3首御鑑定被下度)	(明治)1月2日	(大島)圭介	東久世(通禧)		状	1	封筒欠
168		書簡(本月2日国府津富士見屋において大君へ御目通奉願、其節御別荘御建築に付土地の周旋に付)	(明治)1月25日	野田	安部		状	1	封筒欠 虫損 別荘候補地として欄外に吉野屋敷・石原屋敷・山中氏屋敷が候補にあげられている。
169		書簡(新来之洋書御贈被下間断なく勉強被志、獄中筆墨御許容に相成、昨年翻訳致度見込に御座候、舎密百工之学科考究の事外)	(明治初年)12月13日	(大島)九萬	荒貞		状	1	虫損 明治3年頃か
170		(未使用絵葉書 長崎3枚・日本アルプス1枚)					状	4	